

## 平成 30 年度第 3 回松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事要旨

日時：平成 30 年 11 月 28 日（水）9：00～10：30

場所：松戸市役所 新館 7 階 大会議室

出席者：柳澤委員（会長）、藤村委員（副会長）、村山委員、小川委員、森委員

（欠席：池澤委員）

### ○議事

- (1) 前回議事の確認
- (2) モデル地域計画について
- (3) 全体計画について
- (4) その他

#### (1) 前回議事の確認

事務局より、平成 30 年度第 2 回松戸市公共施設再編整備推進審議会の議事内容について説明を行った。

#### (2) モデル地域計画について

事務局より、平成 30 年度第 2 回小金原地域ワークショップ(平成 30 年 10 月 21 日(日)開催)の開催結果についての説明を行った。

#### <主な意見>

- 小金原地域ワークショップにおける取組のポイントは大きく 2 点挙げられる。1 点目は、地域の公共施設について考える地域のプラットフォームを構築できたことである。2 点目は、地域のまちづくり団体である小金原地区会まちづくり部から学校施設の再編に関する案（積極的統合案）が提示され、上記を含む 3 案（積極的統合案、中間案、現状維持案）について定性的なメリットを比較することで具体的な検討を行うことが出来た点であり、先進的な取組であると考えている。
- 学校施設のあり方については、教育委員会の考えや地域全体の適正規模・適正配置の考え方等、全体の方針の整合性についても今後考慮していく必要がある。
- 地域ワークショップにおいては、若い世代も集めて年齢層のバランスを考慮した意見を得ることが望ましい。今回のワークショップでは、比較的高齢の参加者からは現状維持案を支持する意向が強く、一方で若い参加者からは、積極的統合案を選択したうえで短所を補う方法を考えるといったフレキシブルな意見が多く挙がる傾向にあるといった特徴がみられた。本年度のワークショップでは比較的多くの参加者が集まったが、小金原地域全体の人口と比較すると一部に過ぎない。ある程度意見がまとまった段階で、今までの検討の経過を整理し、シンポジウム等の開催により、小金原地域全

体に本事業における取組について周知する機会を設ける必要がある。

- 今後の小金原地域ワークショップでは、検討の熟度が進んでいることを踏まえて、定量的な指標として、各案で再編を行う際にかかるコストの概算等を提示した上で、具体的な議論を進めることもよいと考える。
- 学校施設の再編は中長期的な検討が必要であるが、現在の小金原地域における活動の盛り上がり方に対して、地域住民が直近で検討・実施できる取組として認識してしまうことが懸念される。学校施設の再編について時間をかけて検討を進めつつ、高齢者向け施設等の直近で対応すべきこと等、短期的に取組むことのできる施設についても合わせて検討を行っていくことがよいと考える。
- 現在、モデル地域での取組として小金原地域で先導的にワークショップ等を行ってきたが、モデル地域としての役割を果たすためには、これらの取組を他の地域に発信し、理解して頂くことが重要と考える。

### (3) 全体計画について

事務局より、松戸市公共施設再編整備基本計画（骨子）【案】 について、前回審議会で提示した内容から修正・更新した箇所を中心に説明を行った。

<主な意見>

#### 第2章 計画の実行

- P6「(3) 市民との情報共有」において、将来的な目標として、計画プロセスにおける市民との情報共有や市民参加を通じて公共施設の管理・運営等、市民が主体となったまちづくり活動や地域経営につなげていくことを目指す旨の方向性などを追記することが望ましい。
- また、「市民参加型の公共施設再編整備」との記載があるが、具体的な市民参加の方法（例：ワークショップへの参加等）についても記載した方がよい。
- P8、9 の(5)多面的な評価の実施について、施設評価に関する今後のスケジュール感があれば、記載することが望ましい。
- P13「進捗管理の仕組み(図 2-3 公共施設再編整備基本計画と個別施設計画の進捗管理)」において、「Do」の項目として年度計画への反映・実施だけでなく、次年度以降のモデル地域における継続的な活動への支援を考慮して、「モデル地域（地域別モデル事業）への支援」を追記することが考えられる。
- また、「Plan」の項目として「市民の意見の聴取・反映」や「施設評価の実施・反映」等の計画策定に関する具体的な手順について追記する方がよい。

## 第4章 行程計画

- P21「施設類型別全体行程表」とP30「地域別全体行程表」における、「短期」および「中長期」の意味合いが同じであれば、表現を統一する必要がある。
- P22「図書館におけるマネジメントの方向性」の「図書館分館を学校施設の建替えの際に、市民センター等の移転によるコミュニティ拠点整備と合わせて、学校図書館との一体的整備の可能性を検討」について、「図書館東部分館以外の図書館分館は、全て学校施設へ複合する」との誤解を与える可能性があるため、表現を修正・補足する必要がある。
- P32「本庁地域の消防施設」のうち、中央消防署は来年度に開設予定であることから、供用開始時期を記載しておく方が良い。
- P40 地域別全体行程表について、「市域全体を対象とする施設」と「対象施設を意識して地域別に配置した施設」に分けているが、複数の地域を対象とする中間的な公共施設などが明確にあれば、説明の表現を考慮しておくことが望ましい。

## 第5章 行程計画について

- P42 の基本的な考え方について、モデル地域の基本的な視点における将来的な取組の方向性の表現が全体的に弱いと感じる。モデル地域の将来的な目標として、各地域での進捗等を踏まえた上で地域住民による地域経営の視点（地域住民が積極的に公共施設の管理等に参画し、地域主体の持続可能な推進体制を構築することを目指す）等を追記すべきである。
  - また、モデル地域だけで完結するものではないため、モデル地域以外の6地域における今後の取組展開（モデル地域への検討プロセスを活かし、地域特性を踏まえた上で市内の他地域に反映していくこと等）についても追記すべきである。
- 上記意見を踏まえた修正の検討を行い、会長と事務局で調整を行い、会長一任という形で市長に答申を行う形を取らせていただいてよろしいでしょうか。
- （各委員）異議なし

### (4) その他

その他、全般を通じて、以下の意見をいただいた。

#### <主な意見>

- 小金原地域の取組を財源などに留意しながら市域全体の視点で活かしていくことは良いと思う。また、地域住民に対して、まちづくり関係の所管課より市民の生活行動調査に関連するアンケート調査の依頼があったことから、今後の再編整備基本計画の推進にあたっては庁内のまちづくり計画との整合や情報共有について留意していく必要がある。

- 学校施設の再編を考えていくにあたっては、学校と市民（地域住民）との関わり方についても考えていく必要がある。教育委員会との連携等により、小金原など地域内のみで考えるのではなく、他の地域も含めて市民と学校がもっとコミュニケーションをとることのできる環境を作っていくことが望ましい。
- 庁内での調査・検討内容については、各所管課に状況を確認の上、今後計画を進めていく際に留意していきたい。

次回の平成30年度第4回松戸市公共施設再編整備推進審議会は平成31年3月27日(水)の午前10時から開催することとする。

(以上)